

パブリックコメントの結果について

募集期間：令和 3 年 5 月 1 7 日～令和 3 年 6 月 1 8 日

応募件数：3 件

2 名、1 団体の方から延べ 5 5 件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	検討	反映困難	その他	合計
3 7 件	0 件	4 件	5 件	9 件	5 5 件

【文章修正等】・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

【記述済み】・・・既に記述済みのもの。

【検討】・・・計画の実施段階で検討または対応すべきもの。

【反映困難】・・・反映が困難なもの。

【その他】・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

募集要件

1. 弘前市内に住所を有する人
2. 弘前市内に事務所等を有する個人及び法人その他の団体
3. 弘前市内の事務所または事業所に勤務する人
4. 弘前市内の学校に在学する人
5. 弘前市に対して納税義務を有する人または寄附を行う人
6. 弘前市文化芸術振興計画に利害関係を有する人

提出された意見等の詳細及び回答

※意見等については頂いたご意見等をそのまま記載しています。

番号	応募方法	募集要件	意見等	回 答
1	Eメール	1. 弘前市内に住所を有する人 3. 弘前市内の事務所または事業所に勤務する人 5. 弘前市に対して納税義務を有する人または寄附を行う人	《P.7 のグラフの表題》 【 】は文章の表題でも使用しているためグラフの見出しの【 】は別のもの(鍵かっこや文字をゴシック体に変えるなど)に変更をお願いします。	【文章修正等】 素案修正版 P.7 ご意見を踏まえ【】を《 》に変更いたします。
2			《P.9 の【グローバル化の進展とインバウンド】第2段落》 マイクロツーリズムは表題【グローバル化の進展とインバウンド】とかみ合っていないため、表題を分けるか、段落を削除するかご検討ください。	【文章修正等】 素案修正版 P.8 ご意見を踏まえ、表題を以下のように修正いたします。 〈修正後〉 【インバウンドとマイクロツーリズム】

3			《P.9 の【文化芸術の社会的役割の拡大】第2、3段落1行目》 第1段落に文章が引きずられており、「社会的役割の拡大」全般に焦点化できていないように見えます。また、第2段落は抽象的過ぎるので以下のように記載してはいかがでしょうか。 原案：<u>災害という非常時や危機的な状況に対する取り組みだけでなく、様々な地域課題に対して、文化芸術の力を活用して、その解決につなげようとする取り組みが広がっています。</u> 本市においては、<u>上記のような地震・風水害が他の地域に比べ少ないと考えられますが、社会に積極的に関わろうとする文化芸術活動が、～</u> 変更案：<u>また、様々な地域課題に対して、賑わいの創出や地域のブランディングなど、文化芸術の力を活用して、その解決につなげようとする取り組みなど、文化芸術の社会的役割が拡大しています。</u> 本市においては、社会に積極的に関わろうとする文化芸術活動が、～ 出典：社会課題の解決に貢献する文化芸術活動の事例に関する調査研究報告書(平成 27 年3月榎野村総合研究所(平成 26 年度文化庁委託事業))P.7 の図表1より	【文章修正等】 素案修正版 P.9 ご意見を踏まえ、以下のように修正いたします。 〈修正後〉 また、様々な地域課題に対し、賑わいの創出や、地域のブランディングなど、文化芸術の力を活用して、その解決につなげようとする取り組みが広がっています。本市においても、社会に積極的に関わろうとする文化芸術活動が、人々を巻き込み、より創造的な地域社会の形成につながるという文化芸術の社会的役割について、改めて認識し、取り組んでいく必要があります。
---	--	--	---	--

4			《P.10 の第2項第1、2段落》 振興基本法の理念と、基本法の改正の趣旨が混在しているため、以下のように整理してはいかがでしょうか。 原案：<u>2017(平成 29)年に「文化芸術振興基本法」が改正され、「文化芸術基本法」が施行されました。</u>文化芸術による新たな価値の創出を広く国際社会に示す重要な契機であるという認識の下、文化芸術立国の実現を目指しています。 また、文化芸術そのものの振興にとどまらず、観光や産業等の関連分野における施策を本法の範囲に取り込み、文化芸術により生み出される様々な価値を、文化芸術の継承、発展及び創造につなげていくことが重要であるとしています。 変更案：<u>2001(平成 13 年)に成立した「文化芸術振興基本法」により、国では文化芸術による新たな価値の創出を広く国際社会に示す重要な契機であるという認識の下、文化芸術立国の実現を目指してきました。</u> <u>2017(平成 29)年には、同法が「文化芸術基本法」に改正され、文化芸術そのものの振興にとどまらず、観光や産業等の関連分野における施策を本法の範囲に取り込み、文化芸術により生み出される様々な価値を、文化芸術の継承、発展及び創造につなげていくことが重要であるとしています。</u>	【文章修正等】 素案修正版 P.10 ご意見のとおり、修正いたします。
---	--	--	--	--

5			《P.10 の第2項第3～5段落》 他の段落と異なり、振興計画として一体のものなので、段落を分割せずに1段落にまとめてはいかがでしょうか。	【文章修正等】 素案修正版 P.10 ご意見のとおり、修正いたします。
6			《P.10 の第2項最終段落2行目》 「文化財保護法」だけ「改正」まで鍵かっこに含めてしまっているの、以下のようにしてはいかがでしょうか。 原案：～示すもののほか、「文化財保護法の改正(2018年)」、芸術や音楽堂～ 変更案:～示すもののほか、<u>地域における文化財の総合的な保存・活用についての「文化財保護法」</u>の改正(2018年)、芸術や音楽堂～	【文章修正等】 素案修正版 P.10 ご意見を踏まえ、以下のように、修正いたします。 〈修正後〉 ～示すもののほか、地域における文化財の総合的な保存・活用を促進する「文化財保護法(2018年改正)」、芸術や音楽堂～
7			《P.11 の第3項①第1段落2行目》 弘前市の東＝八甲田連峰ではないため、以下のようにしてはいかがでしょうか。 原案：～囲まれ、盆地状をなし、～ 変更案:～囲まれ、盆地状をなした<u>ところに位置</u>しており、～	【文章修正等】 素案修正版 P.11 ご意見を踏まえ、また、市総合計画をはじめとする他の計画との整合を図り、以下のように修正いたします。 〈修正後〉 本市は、青森県の南西部、津軽平野の南部に位置し、東側は奥羽山脈の八甲田連峰、西側は霊峰岩木山、南側は、世界遺産白神山地に囲まれ、盆地状をなしています。

8		《P.11 の第3項①第1段落2～3行目》 平野部には～、津軽平野には～とあり、表現が重複しているように見えます。 また、「自然環境に恵まれている」も「田園風景が広がり」と「りんご園地が広がる」にかかっているように見え、表現が重複しているように見えるため、整理をお願いできないでしょうか。	【文章修正等】 素案修正版 P.11 ご意見を踏まえ、また、市総合計画をはじめとする他の計画との整合を図り、以下のように修正いたします。 〈修正後〉 平野部には、白神山地に源を発し、十三湖を経て日本海に注ぐ岩木川が流れています。岩木川には、平川と浅瀬石川が合流しており、その流域の肥沃で広大な津軽平野は、県内屈指の田園地帯となっています。また、平野部周辺の丘陵地帯には、生産量日本一を誇るりんご園地が広がり、それを取り巻くように山林地帯が伸び、緑豊かな自然環境に恵まれています。
9		《P.11 の第3項①第2段落1行目》 「進取の気質」は「進取の気性」ではないでしょうか。	【反映困難】 弘前市総合計画基本計画 P.6より引用している表現であるため、原案のとおりといたします。
10		《P.11 の第3項①第3段落1行目》 「この文化の薫り高い風土」とありますが、第2段落では「薫り高い」ことへの説明がないため、以下のようにしてはいかがでしょうか。 原案 :そして、この<u>文化の薫り</u>高い風土は、～文化芸術活動を活発に<u>しています</u>。 変更案1:そして、この風土は、～文化芸術活動を活発にしています。 変更案2:そして、この<u>土壌</u>は、～文化芸術活動を活発にし、<u>本市の薫り高い風土を形成してきました</u>。	【文章修正等】 素案修正版 P.11 ご意見を踏まえ、以下のように、修正いたします。 〈修正後〉 そして、この土壌は、さまざまな分野で多くの優れた芸術家を輩出し、書道・茶道・華道などの生活文化を含む市民主体の文化芸術活動を活発にし、本市の文化の薫り高い風土を形成してきました。

11			《P.11 の第3項①表題》 第3、4段落目の内容が、文化の土壌に止まらない文化芸術活動そのものを記載しているため、表題を変更してはいいがでしょうか。(あるいは、活動を記載した特に第3段落を削るか。)	【反映困難】 第3段落目の内容を、本市の文化の薫り高い風土についての説明に変えることで、表題はそのままとさせていただきます。																																						
12			《P.17 のグラフ【年齢別】》 年齢別の回答者数は年代別に何人でしたでしょうか。 P.16 の回収結果にもあるとおり、全体で734 人の回答しかない状況のため、平均化してもそれぞれの棒の人数は 122 人しかおらず、当市の年代別市民の割合は、下表のとおりとなっているため、各標本集団がおおむね人口に一致しているかどうか気になりました。 <table><tr><th>年齢</th><th>割合</th></tr><tr><td>15-29</td><td>14.8%</td></tr><tr><td>30-39</td><td>14.2%</td></tr><tr><td>40-49</td><td>18.5%</td></tr><tr><td>50-59</td><td>19.0%</td></tr><tr><td>60-69</td><td>20.5%</td></tr><tr><td>70-75</td><td>13.0%</td></tr></table> 出典:オープンデータひろさき 年齢・男女別人口 令和2年より	年齢	割合	15-29	14.8%	30-39	14.2%	40-49	18.5%	50-59	19.0%	60-69	20.5%	70-75	13.0%	【その他】 年齢帯別の回答者数は以下のとおりです。 <table><tr><th>年齢帯</th><th>人数</th><th>割合</th></tr><tr><td>全体</td><td>723 人</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>10 歳代・20 歳代</td><td>60 人</td><td>8.3%</td></tr><tr><td>30 歳代</td><td>85 人</td><td>11.8%</td></tr><tr><td>40 歳代</td><td>118 人</td><td>16.3%</td></tr><tr><td>50 歳代</td><td>171 人</td><td>23.7%</td></tr><tr><td>60 歳代</td><td>182 人</td><td>25.2%</td></tr><tr><td>70 歳代</td><td>106 人</td><td>14.7%</td></tr></table> ※無回答を除く	年齢帯	人数	割合	全体	723 人	100.0%	10 歳代・20 歳代	60 人	8.3%	30 歳代	85 人	11.8%	40 歳代	118 人	16.3%	50 歳代	171 人	23.7%	60 歳代	182 人	25.2%	70 歳代	106 人	14.7%
年齢	割合																																									
15-29	14.8%																																									
30-39	14.2%																																									
40-49	18.5%																																									
50-59	19.0%																																									
60-69	20.5%																																									
70-75	13.0%																																									
年齢帯	人数	割合																																								
全体	723 人	100.0%																																								
10 歳代・20 歳代	60 人	8.3%																																								
30 歳代	85 人	11.8%																																								
40 歳代	118 人	16.3%																																								
50 歳代	171 人	23.7%																																								
60 歳代	182 人	25.2%																																								
70 歳代	106 人	14.7%																																								

13			《P.19 のグラフ(2つとも)、P.24 のグラフ(下のもの)》 上位3つまでの回答なので、平均回答数をご教示いただければ幸いです。	【その他】 各グラフの平均回答数は以下のとおりです。 P.19「弘前の文化芸術が発展するために、街に必要なと思う要素は何ですか。」 ⇒回答者数:724 人(無回答を除く) 回答数合計:1,932 平均回答数:2.7 P.19「弘前の文化芸術を振興するために、行政が積極的に取り組むべき分野はどのようなことだと思いますか。」 ⇒回答者数:725 人(無回答を除く) 回答数合計:1,949 平均回答数:2.7 P.25「団体として、取り組んでいきたいことや担っていききたいと思う役割は次のうちどれですか。」 ⇒回答者数:95 団体(無回答を除く) 回答数合計:257 平均回答数:2.7
14			《P.20 のグラフ(2つとも)》 「そう思う」のカラーが2つのグラフで微妙に異なるので、可能なら同色としていただけないでしょうか。	【反映困難】 データの色設定を確認したところ、設定数値が同じであることを確認しました。 お使いのモニターや太陽光・照明等の影響によって色が違うように見えることもありますので、ご理解いただけると幸いです。

15			《P.22 のグラフ(上2つのグラフ)》 P.20、21 と同じように、実際の質問文をグラフタイトルとして入れていただけないでしょうか。	【文章修正等】 素案修正版 P22 質問文をグラフタイトルに追加します。
16			《P.23 の下のグラフ、P.24 の上のグラフ》 意見1:P.23 のグラフの「新規加入者が少ない」が 57.1%であるのに対し、P.24 のグラフでは「新規加入者の募集」が 18.8%と著しく少ない一方、P.23 のグラフの「活動のための資金が不足している」が 20.4%であるのに対し、P.24 のグラフの「活動場所使用料の減免」が 47.9%になるなど、同種の項目の食い違いが目立ちます。同一団体が同種の項目で同じ回答を上げているものだけで集計するとどのような数値になるでしょうか。 意見2:今後、同様の調査の参考にするために、異なる回答を行っている団体に、なぜ異なる回答を行っているのか、可能なら意見の聴取をお願いします。特に、困っていないという回答をしたにもかかわらず、市に支援してほしいと回答した団体は、財政支援を過剰に求めている可能性のある、自律性の低い団体なのでご注意ください。	【その他】 意見1につきましては、以下のとおりです。 ○新規加入者について 「新規加入者が少ない」を選択した団体数:56 団体 「新規加入者の募集」を選択した団体数:18 団体 「新規加入者が少ない」「新規加入者の募集」の両方を選択した団体数:16 団体 なお、P.23 の下のグラフと P.24 の上のグラフについて、母数が修正となったため、併せて各選択肢の割合を変更いたしました。 ご質問で触れられている選択肢については以下のとおり変更しました。 P.23 のグラフ 「新規加入者が少ない(57.1%→65.9%)」 「活動のための資金が不足している(20.4%→23.5%)」 P.24 のグラフ 「新規加入者の募集(18.8%→21.7%)」 「活動場所使用料の減免(47.9%→55.4%)」

				<u>○活動資金について</u> 「活動のための資金が不足している」を選択した団体数:20 団体 「活動場所使用料の減免」を選択した団体数:46 団体 「活動のための資金が不足している」「活動場所使用料の減免」の両方を選択した団体:15 団体 意見2につきましては、すでに文化芸術団体との意見交換会を実施いたしましたので、現在各団体にあらためて意見の聞き取りを行う予定はございません。
17			《P.26 第4項の○市民の現状の第1段落1, 2行目》 それぞれの割合が P.16 のグラフと合わないため、修正をお願いします。(無回答を除いて 100 分率化した可能性がある。)	【文章修正等】 素案修正版 P.16 無回答を除くこととして整理し、P.16 のグラフと文中の割合を修正いたします。

18			《P.26 第4項の○市民の現状の第3段落1、2行目》 意見1:P.19 の上のグラフ「弘前の文化芸術が発展するために、まちに必要だと思う要素は何ですか。」に対応するまとめと考えられますが、1行目の「親しみを持つことで、」は質問文に無いため、削除をお願いします。 意見2:「～市民が多くなっています。」については、グラフどおり「～市民が 47.7%となっています。」としてはいかがでしょうか。(半数未満のため、「多い」というには微妙な割合であること、その他は数字で説明していることから、統一した表現とするため。)	【文章修正等】 素案修正版 P.26 ご意見を踏まえ、定量的に根拠を示す形に改め、修正いたします。 〈修正後〉第4項○市民の現状の第3段落 「弘前の文化芸術が発展するために、まちに必要だと思う要素」として、子どもが文化芸術に触れ、心豊かに成長すること(47.7%)があげられるほか、「弘前の文化芸術を振興するために、市民が担うべき役割」として、子どもに文化芸術的な体験をさせ、親しみを持たせる(43.7%)があげられるなど、子どもが文化芸術を体験することの必要性を重視する市民が多くなっています。
19			《P.26 第4項の○市民の現状の第5段落目》 各要因の割合がどこで確認できるかご教示ください。	【文章修正等】 素案修正版 P.16,23,26 P.52 に掲載予定の市民・文化芸術団体アンケート調査結果から引用しておりますが、素案にその内容を掲載していなかったため、ご確認いただけませんでした。申し訳ございません。 なお、計画の本文中に、「アンケートの詳細については P.52 以降に掲載している」旨を追記いたします。

20		《P.26 第4項の○文化芸術団体の現状の第1段落2行目》 平均年齢について、各年代の団体の割合をご教示ください。	【その他】 各年代の割合は以下のとおりです。 ・20 歳代以下 10 団体(10.2%) ・30 歳代 2 団体(2%) ・40 歳代 10 団体(10.2%) ・50 歳代 20 団体(20.4%) ・60 歳代 32 団体(32.7%) ・70 歳以上 24 団体(24.5%)
21		《P.26 第4項の○文化芸術団体の現状の第1段落5行目》 P.23 の下にグラフが記載されているため、以下のようにはいかがでしょうか。 原案:～新規会員が増えず、～ 変更案:～<u>57.1%の団体で新規加入者が少ないことを困っているとしており、～</u>	【反映困難】 活動するうえで困りごとを有する 86.7%の団体のうち、57.1%の団体が、新規加入者の少なさを訴えています。 母数も示さなければ誤解を与えるため、ご意見を踏まえて、上記の内容に修正することを検討しましたが、こちらについては、数字が混在することで逆にわかりづらくなる恐れがありますので、原案のとおりとさせていただきます。
22		《P.26 第4項の○文化芸術団体の現状の第2段落2～3行目》 「会員の高齢化」が「活動資金の確保」につながるものが漠然としているため、表現の追加をお願いします。(高齢化したからといって活動資金が確保できなくなるわけではなく、新規加入者の不足が高齢化を引き起こす。)	【文章修正等】 素案修正版 P.27 ご意見のとおり、会員の高齢化と活動資金が確保できなくなることの因果関係が明確ではないため、「会員の高齢化」を削除いたします。

23			《P.26 第4項の○文化芸術団体の現状の第2段落4行目》 「団体の活動規模」が小さくなっていくことが問題との認識のようですが、P.23 の下のグラフにある「市内に発表・展示する場所が少ないー22.4%」「市内に活動する場所が少ないー19.4%」とあり、P.24 の上のグラフにある「活動場所の確保支援ー43.8%」の実態からすると、小さくなることそのものが問題のように見えません。実際にどのようなことから団体の活動規模が小さくなるのが問題になるのでしょうか。表現の追加をお願いいたします。	【反映困難】 P.6 の「文化芸術の意義」にあるとおり、文化芸術を継承・発展させることは、今後ますます重要になると考えております。 市といたしまして、文化芸術団体の活動は、文化芸術を振興するための基礎をなすものと考えており、活動の場や発表の場の確保支援を含めて、文化芸術団体の活動の活性化を支援してまいりたいと考えております。
24			《P.27 第4項の○文化芸術団体の現状の第4段落2～3行目》 P.23 の下にグラフが記載されているため、以下のようにしてはいかがでしょうか。 原案：～団体が<u>行う活動</u>を<u>広く市民に</u>周知する場や機会が少なく、～ 変更案：～<u>16.3%の団体</u>が、<u>活動をPR</u>・周知する場や機会が少ないと<u>しており</u>、～	【文章修正等】 素案修正版 P.27 ご意見を踏まえ、定量的に根拠を示す形に改め、修正いたします。 〈修正後〉第4項○文化芸術団体の現状の第4段落 情報発信について、専用のホームページ(SNSを含む)を持っている団体の割合は 29.9%でした。「活動するうえで困っていること」として活動をPR・周知する場や機会が少ないと答えた団体は 18.8%となり、「市に支援してほしいこと」として活動、公演等のPR支援と答えた団体は 31.3%となりました。情報の受け手である市民からも、市民向けアンケート調査の結果で「弘前で行われている文化芸術の催しなどで改善してほしいと感じる点」として、催しに関する情報を目にする機会が少ないと答えた人が 41.2%となるなど、文化芸術に関する情報不足が伺えます。

25		《P.27 第4項の○文化芸術団体の現状の第4段落3～4行目》 「市民向けアンケート調査の結果でも、」について、P.16～22 では「文化芸術の催しや活動の情報が得られないという結果」の記載が判然としませんでした、どの部分で確認すればよろしいでしょうか。できればP.16～22の記載と、この部分の記載が対応するようにお願いいたします。	【文章修正等】 素案修正版 P.16,23,26 P.52 に掲載予定の市民・文化芸術団体アンケート調査結果から引用しておりますが、素案にその内容を掲載していなかったため、ご確認いただけませんでした。申し訳ございません。 なお、計画の本文中に、「アンケート調査結果の詳細については、P.52 以降に掲載している」旨を追記いたします。
26		《P.27 第5項の課題①の第1段落1行目》 表記を以下のようにしていただければ幸いです。 原案：市民向けアンケートの結果、～ 変更案：市民向けアンケート調査の結果、～	【文章修正等】 素案修正版 P.28 ご意見のとおり、修正いたします。
27		《P.27 第5項の課題①の第1段落1行目》 P.19 の表記に合わせて、以下のようにしていただければ幸いです。 原案：～文化芸術振興のために～ 変更案：～弘前の文化芸術を振興するために～	【文章修正等】 素案修正版 P.28 ご意見を踏まえ、以下のように、修正いたします。 〈修正後〉 ～文化芸術を振興するために～
28		《P.27 第5項の課題①の第1段落3行目》 「市民が担うべき役割」について、P.16～22 では「子どもに文化芸術的な体験をさせ、親しみを持たせる」の記載が判然としませんでした、どの部分で確認すればよろしいでしょうか。できればP.16～22の記載と、この部分の記載が対応するようにお願いいたします。	【文章修正等】 素案修正版 P.16,23,26 P.52 に掲載予定の市民・文化芸術団体アンケート調査結果から引用しておりますが、素案にその内容を掲載していなかったため、ご確認いただけませんでした。申し訳ございません。 なお、計画の本文中に、「アンケート調査結果の詳細については、P.52 以降に掲載している」旨を追記いたします。

29		《P.27 第5項の課題①の第2段落1行目》 表記を以下のようにしていただければ幸いです。 原案：文化芸術団体向けアンケートにおいても、～ 変更案：文化芸術団体向けアンケート<u>調査の結果</u>においても、～	【文章修正等】 素案修正版 P.28 ご意見のとおり、修正いたします。
30		《P.27 第5項の課題①の第2段落3～6行目》 「学校教育で～育たなくなっている」「文化芸術団体と～進めてほしい」の2つの意見が P.14、15 の「主な内容」に含まれていないため、P.14、15 にこの2つの意見を含めるか、P.14、15 の意見をそのまま転記するかお願いできないでしょうか。	【文章修正等】 素案修正版 P.14、P.15 ご意見を踏まえ、P.14、P.15 に転記いたします。
31		《P.27 第5項の課題②の第1段落1行目》 表記を以下のようにしていただければ幸いです。 原案：文化芸術団体向けアンケートの結果から、～ 変更案：文化芸術団体向けアンケート<u>調査</u>の結果から、～	【文章修正等】 素案修正版 P.28 ご意見を踏まえ、以下のように、修正いたします。 〈修正後〉 文化芸術団体向けアンケート調査の結果、～
32		《P.27 第5項の課題②の第2段落1～4行目》 2つの意見が P.14、15 の「主な内容」に含まれていないため、P.14、15 にこの2つの意見を含めるか、P.14、15 の意見をそのまま転記するかお願いできないでしょうか。	【文章修正等】 素案修正版 P.14、P.15 ご意見を踏まえ、P.14、P.15 に転記いたします。
33		《P.28 第5項の課題③の第1段落1行目》 表記を以下のようにしていただければ幸いです。 原案：市民向けアンケートにおいて、～ 変更案：市民向けアンケート<u>調査の結果</u>において、～	【文章修正等】 素案修正版 P.29 ご意見を踏まえ、以下のように、修正いたします。 〈修正後〉 市民向けアンケート調査の結果、～

34		《P.28 第5項の課題③の第1段落2行目》 「思わない理由」が P.16 にないため、「思わない理由」のデータの掲載をお願いします。(割合が「高い」かどうか不明なため。)	【文章修正等】 素案修正版 P.16,23,26 P.52 に掲載予定の市民・文化芸術団体アンケート調査結果から引用しておりますが、素案にその内容を掲載していなかったため、ご確認いただけませんでした。申し訳ございません。 なお、計画の本文中に、「アンケート調査結果の詳細については、P.52 以降に掲載している」旨を追記いたします。
35		《P.28 第5項の課題④の第1段落2行目》 「思わない理由」が P.16 にないため、「思わない理由」のデータの掲載をお願いします。(割合が「高い」かどうか不明なため。)	【文章修正等】 素案修正版 P.16,23,26 P.52 に掲載予定の市民・文化芸術団体アンケート調査結果から引用しておりますが、素案にその内容を掲載していなかったため、ご確認いただけませんでした。申し訳ございません。 なお、計画の本文中に、「アンケート調査結果の詳細については、P.52 以降に掲載している」旨を追記いたします。
36		《P.27 第5項の課題③の第2段落2～4行目》 2つ目の意見が P.14、15 の「主な内容」に含まれていないため、P.14、15 にこの意見を含めるか、P.14、15 の意見をそのまま転記するかお願いできないでしょうか。	【文章修正等】 素案修正版 P.14、P.15 ご意見を踏まえ、P.14、P.15 に転記いたします。
37		《P.28 第5項の課題④の第1段落1行目》 表記を以下のようにしていただければ幸いです。 原案：市民向けアンケートの結果、～ 変更案：市民向けアンケート<u>調査</u>の結果、～	【文章修正等】 素案修正版 P.29 ご意見のとおり、修正いたします。

38		《P.28 第5項の課題④の第1段落1～2行目》 表記を③同様、鍵かっこを付けるか付けないか、ご検討ください。 原案：弘前市は文化芸術が盛んなまちだと思わない理由として、～ 変更案：「弘前市は文化芸術が盛んなまちだと思わない理由」<u>として</u>、～	【文章修正等】 素案修正版 P.29 ご意見のとおり、修正いたします。
39		《P.28 第5項の課題④の第2段落1～2行目》 表記を以下のようにしていただければ幸いです。 原案：～市民向けアンケートにおいても、文化芸術団体向けアンケートにおいても、～ 変更案：～市民向け<u>及び文化芸術団体向けの両方</u>アンケート<u>調査の結果</u>においても、～	【文章修正等】 素案修正版 P.29 ご意見を踏まえ、以下のように、修正いたします。 〈修正後〉 ～市民向け及び文化芸術団体向けアンケート調査の結果においても、～
40		《P.28 第5項の課題④の第2段落2行目》 文化芸術団体向けアンケート(調査の結果)では、「公演、展覧会、市民文化祭などの文化芸術事業の充実」が読み取りにくい状況です(使用料減免、活動場所の確保支援、補助金の拡充という、具体的なものであり、「文化芸術事業の充実」という包括的なものではない)。2つのアンケートの両方で「求める声が高く」と説明するにはやや不足の印象を受けます。 2つのアンケート調査の結果をまとめずに、それぞれで表現するか、文化芸術団体向けアンケート調査は、選択肢のものを記載しつつ、それが「文化芸術事業」として支援しているものであることの説明を追加するか、ご検討ください。	【文章修正等】 素案修正版 P.16,23,26 P.52 に掲載予定の市民・文化芸術団体アンケート調査結果から引用しておりますが、素案にその内容を掲載していなかったため、ご確認いただけませんでした。申し訳ございません。 なお、計画の本文中に、「アンケート調査結果の詳細については、P.52 以降に掲載している」旨を追記いたします。

41		《P.28 第5項の課題⑤の第1段落2～3行目》 「主たる活動経費を会員の年会費で賄い」「年間 49 万円以下で活動」の根拠が P.23～25 のアンケート調査の結果に無いため、アンケート調査の結果に追加するか、記載を削除するかご検討ください。	【文章修正等】 素案修正版 P.16,23,26 P.52 に掲載予定の市民・文化芸術団体アンケート調査結果から引用しておりますが、素案にその内容を掲載していなかったため、ご確認いただけませんでした。申し訳ございません。 なお、計画の本文中に、「アンケート調査結果の詳細については、P.52 以降に掲載している」旨を追記いたします。
42		《P.28 第5項の課題⑤の第2段落2行目》 「求める声が高まっており」とありますが、P.24 のグラフでは「高い」ことは分かっても「高まる(時間的に低い状態から高い状態に変化する)」ことが判りません。アンケート調査の結果だけであれば、以下のようにはいかがでしょうか。 原案 : ～を求める声が高<u>ま</u>っており、～ 変更案: ～を求める声が高<u>く</u>、～	【文章修正等】 素案修正版 P.29 ご意見のとおり、修正いたします。
43		《P.28 第5項の課題⑤の表題》 内容が経済的な困窮と支援のように見えます。一方で、「活動規模が小さくなる」が活動経費が少ないことと一致するのかが不明です。以下のようにはいかがでしょうか。 また、この場合、第2段落の「市に支援してほしいこと」に、「活動のための資金が不足」を追加したほうがよいと思います。 原案 : 文化芸術団体の活動規模が小さくなり<u>つつある</u>。 変更案: 文化芸術団体の活動<u>経費が不足している</u>。	【文章修正等】 素案修正版 P.29 ご意見を踏まえ、表題を以下のように修正いたします。 〈修正後〉 文化芸術団体の活動資金が不足している。

44			《P.29 第5項の課題⑥の第1段落1行目》 表記を以下のようにしていただければ幸いです。 原案：文化芸術団体向けアンケートの結果、～ 変更案：文化芸術団体向けアンケート<u>調査</u>の結果、～	【文章修正等】 素案修正版 P.29 ご意見のとおり、修正いたします。
45			《P.29 第5項の課題⑥の第1段落2～3行目》 「多くの団体が活動・発表できるような工夫・調整」とありますが、P.24 のグラフでは、団体は「活動場所の確保支援」を求めているのであり、「工夫・調整」だけではなく活動場所の新設・提供」も求められているのではないのでしょうか（工夫・調整の求めは、明確に記載がない）。このため、以下のようにしてはいかがでしょうか。 原案：～<u>多くの団体が活動・発表できるような工夫・調整</u>が求められています。 変更案：～<u>活動場所の確保支援</u>が求められています。	【文章修正等】 素案修正版 P.30 ご意見のとおり、修正いたします。
46			《P.51 資料5の表題》 「調査結果」の「調」が抜けておりましたので修正をお願いします。	【文章修正等】 素案修正版 P.52 ご意見のとおり、修正いたします。
47	Eメール	1. 弘前市内に住所を有する人 2. 弘前市内に事務所等を有する個人及び法人その他の団体 3. 弘前市内の事務	《P.37 基本目標1、2、3》 市内に所在する学校が教育活動として実施する行事で、施設設備を利用する際は無料とするなどの施策が望まれる。また、予約に際して優先的に扱っていただきたい。	【検討】 ご意見については、施設の維持管理にかかるコストのあり方と併せ、P.38 の「利用しやすい使用料・利用料の検討」に係る具体的な内容を検討する際の参考といたします。

48		所または事業所に勤務する人 4. 弘前市内の学校に在学する人 6. 弘前市文化芸術振興計画に利害関係を有する人	≪P.39、40 基本目標3≫ 文化芸術にかかわる人材育成の目的で実施される催しで施設・設備を利用(使用)する場合の利用施設の使用料の減免、催事経費の助成をお願いしたい。また、予約に際して優先的に扱っていただきたい。	【検討】 ご意見については、施設の維持管理にかかるコストのあり方と併せ、P.41 に記載の「子どもや若者を対象とした体験活動、後継者育成及び新しい文化創造に対する支援」にかかる具体的な内容を検討する際の参考といたします。
49			≪P.40 基本目標3≫ 中学校文化部の活動・育成費を増額していただきたい。	【検討】 ご意見については、教育委員会とも調整し、P.41 に記載の「子どもや若者を対象とした体験活動、後継者育成及び新しい文化創造に対する支援」にかかる具体的な内容を検討する際の参考といたします。
50			≪P.40 基本目標3≫ 中学校文化部の派遣にかかる費用を運動部と同様の水準にしていきたい。	【検討】 ご意見については、教育委員会とも調整し、P.41 に記載の「子どもや若者を対象とした体験活動、後継者育成及び新しい文化創造に対する支援」にかかる具体的な内容を検討する際の参考といたします。
51	Eメール	1. 弘前市内に住所を有する人 3. 弘前市内の事務所または事業所に勤務する人 5. 弘前市に対して	≪P.11、13、42 など≫ 文化財のうち、無形文化財として、弘前藩伝古武術、津軽生田流、根笹派音笛流錦風流尺八、津軽神楽などこの地方独自の歴史的音楽、芸能の保護育成について、対象となるものを具体化するとともに、保護、育成、紹介についての取り組みを強化する。	【その他】 ご意見については、教育委員会とも調整し、今後計画を推進するうえでの参考とさせていただきます。

52	納税義務を有する人または寄附を行う人	《P.39 文化芸術を担う人材育成について》 Kミュージックラボが行っている「桜の園作曲コンクール」はもはや全国的な作曲コンクールであると同時に、地元小中高生が作曲を通じて音楽の創作活動へ取り組む素晴らしい物である。市長賞や教育長賞もあるのだから、これを市主催に引き継いではどうか。 また、未来コンサートは、弘前市ゆかりの若い音楽家たちを紹介するものであり、これも継承してはどうか。コンサートについては既に他県市町村でも行われており、一定の成果を上げている。	【その他】 当該事業については、その目的や趣旨を踏まえ、市として後援という形で支援しておりますが、主催団体から、事業の引継ぎについての要望はなく、また、市民主体の文化芸術活動を推進する観点から、市主催の事業とすることは考えておりません。
53		《P.45 市の役割について》 市民文化祭を市が主導すべきである。理由は、現在、社教主導で実行委員会形式となっているが、社教は加盟を希望しても入れない市民団体が多数あるなど、広く市民の文化活動を推進していくべき市民文化祭としては偏りが否めない。 また、市民文化祭そのものの開催目的が共有、周知されていないし、どこにもそういったことが謳われていない。また市民文化祭そのものの省察が適切に行われているとは言えない現状がある。	【その他】 市民文化祭は、50 年以上の長い歴史を持ち、本市を象徴する文化の祭典であると認識しており、本計画においては、市民参加を促進し、市民文化祭の充実を図ることとしております(P.38 参照)。 ご指摘の点については、課題として受け止め、市民文化祭実行委員会事務局である弘前市社会教育協議会に申し伝えるとともに、今後の参考とさせていただきます。
54		《P.43 市の各施設の活動方法やイベントについて》 市民からのアイデアを公募したり、受け入れることをしてはどうか。	【その他】 ご意見については、今後計画を推進するうえでの参考とさせていただきます。

55			《P.43》 市や市の施設(学校や公民館など)または個人が所有する美術、工芸品などの芸術作品のうち、広く市民に公開すべき価値(相応の評価が必要)を有する物を展示、紹介する企画があれば良いのではないか。 市や市の施設が所有する書画作品の中には、価値があるながらも管理が行き届かず、痛みが進んでいる物も少なくない。また、統廃合により、無人の建物に置き去りの物もある。 特にこぎん作品は、児童生徒、一般性と、一般市民による作品も多数あると同時に、高い価値を有する物も多数あると思う。(例えばこれまでも、「こぎんフェスティバル」など興味深いイベントがあったが、これは市内、県内はもとより、全国からの注目と集客があった。)	【その他】 ご意見については、今後計画を推進するうえでの参考とさせていただきます。
----	--	--	--	--